

2024年11月14日

報道関係者各位

バイク未来総研

バイク未来総研、第50回記念『リセール・プライス』ランキングを発表 『ホンダ・X-ADV』が二期連続で首位獲得！

対象期間 2024年6月～2024年8月

バイク業界のよりよい未来を考え、新しい価値を調査し、分析した内容を広く社会に発信することを目的に活動を行うバイク未来総研(所在地:東京都港区、運営:株式会社バイク王&カンパニー)は、2024年6月～2024年8月の期間を対象に、「再び売却した際、高値の付くバイク」＝「“リセール・プライス”の高いバイク」上位10車種を、バイク王が運営するバイク情報サイト『Bike Life Lab』に発表いたしました。

『“リセール・プライス”の高いバイク』は、需要の高いバイク、つまり『人気のあるバイク』と言い換えることもできます。50回目となる今回は、「ホンダ・X-ADV」が二期連続首位に輝きました。

◇ 『ホンダ・X-ADV』が首位獲得！



※本リリースの調査結果を転載される際は、必ず「[バイク未来総研調べ](https://www.8190.jp/bikelifelab/bikefuture/resale-ranking/newest/)
(<https://www.8190.jp/bikelifelab/bikefuture/resale-ranking/newest/>)」とご明記ください。

■ 総合ランキング

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ホンダ・X-ADV	123.9 Pt
2	ホンダ・Gold Wing Tour	106.2 Pt
3	カワサキ・ELIMINATOR	105.3 Pt
4	カワサキ・ELIMINATOR SE	100.4 Pt
5	ホンダ・CB1300SUPERFOUR	95.1 Pt
6	カワサキ・ZX-4RR	94.5 Pt
7	ホンダ・CRF1100L Africa Twin	94.4 Pt
8	カワサキ・ZX-4R SE	90.0 Pt
9	ホンダ・CB1300SUPERFOUR SP	89.4 Pt
10	ヤマハ・MT-10 ABS	87.9 Pt

◇対象期間 2024年6月～2024年8月

50回目となる『リセール・プライス』ランキングは、『ホンダ・X-ADV』が首位に輝きました。

■ 二期連続首位獲得を果たした X-ADV。人気の理由は？

NCシリーズとプラットフォームを共有したコントロールラブルな車体特性は、スクーター形状でありながら高い走行性能を誇り、日常使いからツーリングまで幅広く扱える汎用性が魅力的な一台と言えます。

状況によって車両を乗り変えずに扱える個性的なキャラクターで国内外問わず根強い人気があり、二期連続で首位に輝きました。

ツーリングだけでなくアウトドアレジャーとも相性がよいため、汎用性を求めるユーザー心理をしつかりつかめている事と、海外で続くオールラウンド機の需要も重なり、前回からさらに 18.3pt も伸ばした今回の結果となりました。

ツーリング・日常使いなどライフワークに合わせて車両を使い分ける事が多かった今までの概念を破る新しい形となるのか、今後のランキング順位にも注目が集まります。

■ 安定した人気の Gold Wing Tour は前回より 7.6pt 上昇

市販車唯一の水平対向 6 気筒による滑らかなエンジンフィーリングは他では味わえない乗り味で、四輪車に匹敵する快適装備で充実したツーリングシーンを提供してくれます。その Gold Wing Tour も国内外問わず人気で、前回から 7.6pt 伸び 106.2pt となりました。

比較的丁寧に扱われることにより流通する中古車の状態も良い個体が多いため、値崩れしにくい事もランキング上位に入り続ける一因と考えられます。

■ SE モデルの発売により 3 位、4 位に ELIMINATOR シリーズがランクイン

2024年3月に SE モデルが発売され、流通量も安定したことで中古バイク市場でも人気となり 3 位と 4 位に ELIMINATOR シリーズがランクインしました。一度は国内メーカーのラインナップから姿を消した 400cc クルザーを再び復活させた本モデルに注目が集まっている事がこの順位から伺えます。

かつての ELIMINATOR シリーズ同様、スポーツモデルのエンジンをベースに開発された軽快なスポーツ性能と、足つきが良く安定感のあるライディングポジションは男女問わず、今後もランキング上位を維持できるか注目が集まります。

ランキングを通じて、業者間オークションにおいて昨今の円安による海外バイヤーの応札が活発なことなども相場を引き上げる一因となっていると考えられ、ポイント数を上げる車両が目立ちました。海外への流通数が増加するなか、年間 10 万台を取り扱うバイク王では良質な在庫を確保し、豊富な車種・車両を自社販売できる体制を整え、今後も国内ライダーの皆さまの期待にお応えしてまいります。

様々な要因が絡み、首位3車種が大きくポイントを伸ばした第50回の『リセール・プライス』ランキング。次回のランキングの動きにもご注目ください。

※排気量別ランキングは、バイク王が運営するバイク情報サイト『Bike Life Lab』内にある、バイク未来総研の記事に掲載しております。

<https://www.8190.jp/bikelifelab/bikefuture/resale-ranking/newest/>

※海外バイヤーの落札率上昇に関する記事は下記に掲載しております。

「USED IN JAPAN の魅力。円安ドル高で海外バイヤーが日本の中古バイクに注目」

<https://www.8190.jp/bikelifelab/bikefuture/report/motorcycle-weak-yen/>

■ 『リセール・プライス』とは

バイクを再び売却(=リセール)するときの価格(=プライス)を指します。

2024年11月現在、新車で購入が可能なバイクを対象とし、業者間オークションで売却した際の落札金額の平均値と新車販売価格を基に『リセール・プライス』をポイント化。ポイント数が高いほど、『リセール・プライス』が高いと想定できます。

本指標は、中古バイクの年間取扱台数10万台以上の『バイク王』が取り扱うデータを基に、バイク未来総研が独自に集計したものであり、バイクユーザーが新車あるいは中古バイクを購入する際の参考情報として活用されることを目的としています。

■ 算定基準

- ・国内主要4メーカーが、国内で販売しているバイク(2024年11月現在・逆輸入車を除く)
- ・新車販売価格は2024年11月現在の価格を基準。カラー等により価格が複数ある場合は、最安値を基準に算定
- ・モデルチェンジが実施された場合は、最新モデルのみを対象とする
- ・期間内に、バイク未来総研独自の規定台数に達する流通があるバイクを対象とする

■ バイク未来総研所長 宮城光のココがポイント

面白い結果となった今回ですが、全体的な印象としてはツーリング主体のマルチパーパスモデルをユーザーが求めているように伺えます。X-ADVはまさにその代表で、世界的にも支持されているマーケットからもわかります。

また、注目したいのはGold Wing Tourの上位への進出です。見た目には圧倒される方も多いのですが、乗ってみると見た目以上にドライバビリティーが高く、為替レートも手伝って「大物物件」として海外から注目が集まっていると考えられます。

ELIMINATORは普通免許で乗れる最大排気量モデルであり、走りも充実しているからこそその上位進出でしょう。クルーズモデルとして長距離のツーリングを楽しみたいライダーからの支持が強いのでしょうか。またスポーツ系では「やはり」と言うべき、ZX-4Rが奮闘しました。400cc4気筒の魅力は「乗って楽しいSSモデル」として、ユーザーからのリアルな反応とも言えるでしょう。



【バイク未来総研 について】

2022年3月にバイク業界のよりよい未来を考え、新しい価値を調査し、分析した内容を広く社会に発信することを目的に発足しました。

国内外のレースで輝かしい成績を挙げ現在はモータージャーナリストのほか多方面で活躍する宮城光氏を所長に向かえ、バイクライフの楽しさやバイク王が持つバイクに関する独自データ分析などの情報発信に加え、ライダーやバイク業界がこれから描く「未来」に切り込んだコンテンツを順次発信します。



プレスリリースに関するお問い合わせ先
株式会社バイク王&カンパニー 東京都世田谷区若林3丁目15-4
メディアプロモーションチーム 担当：平、赤松
E-mail: prir@8190.co.jp